

BOUCHERON

PARIS DEPUIS 1858



ブシュロンのジャパンアンバサダー、MINAが カンヌ国際映画祭のレッドカーペットに新作ハイジュエリーを纏って登場



MINA ©Getty Images

2025年5月13日から24日まで開催されている第78回カンヌ国際映画祭にて、ブシュロンのジャパンアンバサダーを務めるMINAが新作ハイジュエリーコレクションを纏ってレッドカーペットに登場しました。

MINAは今年1月に発表されたばかりのハイジュエリーコレクション「UNTAMED NATURE (手つかずの自然)」から、ロジエ (バラの木) の6カラットのペアシェイプダイヤモンドをバゲットカットとラウンドカットダイヤモンドで縁取りしたペンダントトップが印象的なクエスチョンマークネックレス、タイプII Aのペアシェイプダイヤモンドをバラの花のつぼみのようにセットしたイヤリング、そして花びらにはローズカットのダイヤモンド、葉にはラウンドカットダイヤモンドをセットし、ダイヤモンドの様々な輝きを楽しめるシクラメンのリングを着用しました。



©BOUCHERON



左から「ロジエ」ネックレス、イヤリング、「シクラメン」リング

©BOUCHERON

MINAの他、ブランドアンバサダーを務めるアレクサ・チャン、ハン・ソヒ、アンニャ・ルービック、チョウ・ドンユイ、アーティストのリアーナ、俳優のダコタ・ジョンソン、デージー・エドガー＝ジョーンズ、ジュリアン・ムーアなどがブシュロンのジュエリーを纏いレッドカーペットに登場しました。



左からアレクサ・チャン、ハン・ソヒ、アンニャ・ルービック、チョウ・ドンユイ ©Getty Images



左からリアーナ、ダコタ・ジョンソン、デージー・エドガー＝ジョーンズ、ジュリアン・ムーア ©Getty Images

#BoucheroninCannes

#Cannes2025

1858年にフレデリック・ブシュロンが創業し、一族によって4世代にわたり自由な精神とスタイルが継承されてきたブシュロン。パリ・ヴァンドーム広場にブティックを開いた最初のハイジュエラーとして、ブシュロンは一流のハイジュエリーと高級時計を象徴するメゾンとしての地位を確立してきました。自由で大胆な精神を持つブシュロンの唯一無二のスタイルは、世代を超えて受け継がれ、160年以上の歴史を誇ります。現在、ブシュロンは世界各国で90以上のブティックを展開し、国際的なラグジュアリーグループであるケリングに属しています。